

学科名	生物環境化学科、電気通信・電気電子工学科、建築・デザイン学科、情報学科、経営ビジネス学科					
科目名	現代社会と法					
科目区分	教養教育科目	単位数	2単位	開講時期	前期	
必修・選択の別	選択					
担当者	山崎淳司					
授業の到達目標 (シラバスから)	日常生活において、身近な法的な問題が存在することに気付くこと。法的な思考を理解できるようになること。					
日程と内容	4月9日、第1回 法とは何か。 4月17日、第2回 財産関係と法（1）私法（民法）の基本原則（1）。 4月23日、第3回 財産関係と法（2）物権。5月7日、第4回 財産関係と法（3）債権（1）。 5月14日、第5回 財産関係と法（4）債権（2）。 5月16日、第6回 財産関係と法（5）不法行為 交通事故。 5月21日、第7回 民事上の責任、刑事上の責任、行政上の責任 交通事故を素材に。 5月28日、第8回 家族関係と法（1）親族とは。6月4日、第9回 家族関係と法（2）夫婦間の問題。 6月11日、第10回 家族関係と法（3）親子間の問題。6月18日、第11回 家族関係と法（4）相続と遺言。 6月25日、第12回 犯罪と法（1）刑法の役割と基本原則。7月2日、第13回、犯罪と法（2）構成要件。 7月9日、第14回 犯罪と法（3）違法性。 7月23日、第15回 定期試験。 7月30日、第16回 定期試験の解説、会社とは。					
成績評価基準	定期試験	100%	実技	0%		
	臨時試験	0%	部外評価	0%		
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%		
	課題	0%				
	演習	0%	計	100%		
授業到達目標の達成度	実際に授業に出席している学生が少なかったこともあり、シラバスどおりにはないが、授業の到達目標の80パーセントほどに届いた。					
反省点	最初にプリントだけ受け取り帰る学生や授業の途中で抜ける学生がおり、授業内容でつなぎとめることができなかった。					
来年度の計画	授業の出席の取り方、小テストの導入など、プリントだけを受け取って帰る学生や途中で抜ける学生をつなぎ止める工夫をしてゆく。					
授業評価アンケートに対するコメント	クラスの勉学の雰囲気を保つように努めていた点と授業全体の評価に対して、平均値の評価を得た。また、授業に刺激されて授業内容に興味を持つようになった点も平均値に近かった。このクラスでの経験をいかして、来年度の授業を改善してゆきたい。					
履修登録者数	62名	定期試験 受験者数	59名	合格者数	44名	合格率 75%